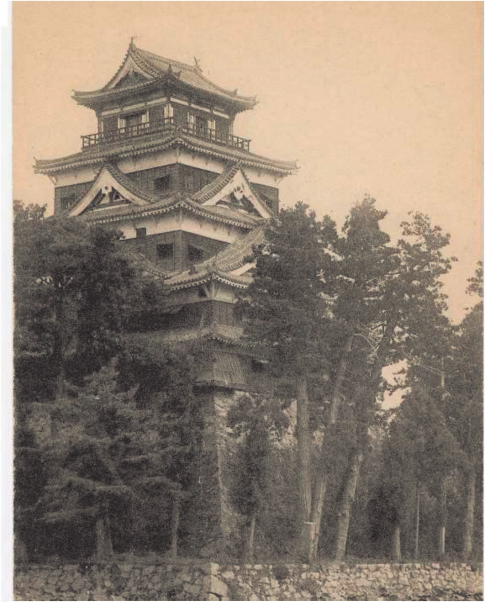


広島城天守に使われていた 木材に関する情報を探しています!!



被爆後の天守跡
林重男撮影、広島平和記念資料館提供



被爆前の広島城天守
個人蔵



昭和38年8月2日 中国新聞記事
(赤線部が木材譲渡に関する記載)

広島市では、広島城天守の木造復元に向けた調査・検討を行っています。

天守は、安土桃山時代、西日本最大の大名であった毛利輝元によって城下町広島とともに造られました。

城郭建築史上において、極めて貴重な歴史的建造物でしたが、昭和20年8月6日、人類史上最初の原子爆弾の投下により、倒壊しました。

倒壊した天守の木材については、諸説ありますが、「二十一年六月、佐伯郡水内村の人に天守の松角材五千本(中略)を譲渡」との記載が新聞記事にあります(昭和38年8月2日中国新聞夕刊)。

天守に使われていた木材に関する情報を探しています。ご存じのことがありましたら、情報提供先までご連絡ください。

※いただいた情報は天守の木造復元に向けた調査・検討のためにのみ利用させていただきます。

【情報提供先】

広島市市民局文化スポーツ部文化振興課広島城活性化担当
〒730-8586 広島市中区国泰寺町一丁目6番34号
TEL (082)504-2869 FAX (082)504-2066

Email bunka-machi@city.hiroshima.lg.jp